



季刊 **THE USER**

ユーエィ ユース

株式会社ユーエィ

本社 〒578-0965 東大阪市本庄西1丁目8番39号
TEL.06-6747-5607 / FAX.06-6747-5608

O.T.ファテック事業部 URL <http://www.yuei-group.com>

東大阪営業所 TEL.06-6747-5620 / FAX.06-6747-5605
淀川営業所 TEL.06-6396-1151 / FAX.06-6396-1158
枚方営業所 TEL.072-858-4400 / FAX.072-858-1965
奈良営業所 TEL.0743-57-7782 / FAX.0743-57-7772

小牧営業所 TEL.0568-75-7206 / FAX.0568-75-7208
関東営業所 TEL.048-227-9470 / FAX.048-227-9471
F S 部 TEL.0743-57-7771 / FAX.0743-57-7772



「YTC東京」6月オープン

IoTシステムを体感できるショールーム

ユーエィは6月、東京支店 軽にユーエィの製品を体感で（東京都千代田区外神田6・ ける常設型の展示場として活 13・10フロア秋葉原5 用していきます。

階の同ビル2階にショールームを構成するの ム「YTC東京（ユーエィ・テ は、産業用キャスター展示コー ナー／IoTセンサキャスター 展示コーナー／IoTセンサ 設しました。コロナ禍で展示 展示コーナー／IoTセンサ 会の機会が減少するなか、気 製品展示コーナー／利用状況 「ユーエィツナガル・システム」

表示システムコーナー／位置 情報検知システムコーナー／ 企業情報展示コーナーの6つ のコーナー。最新のキャスター 製品に加え、専門知識のない 方でも簡単操作でネットワー ク構築ができるIoTシステム 務改善に活かしていただき 「IoTシステムは口頭説明 よりも、体感いただくほうが はるかにわかりやすいです。か ら」と、マーケティング部の 若井祐亮主任。「事前連絡制 ではありますが、ぜひお気軽 にご利用いただき、自社の業 務改善に活かしていただき

INDUSTRY-FRONTIER 2021に出展



新型ファンや初出展のガススプリングなど紹介

5つの専門技術展で構成される「INDUSTRY-FRONTIER 2021」が、6月23日から3日間、東京ビッグサイトで開催されました。ユーエィは4月にリニューアルした大風量低速シーリングファン「ユーエィファン」や、簡単に構築可能なIoTシステム「ユーエィ・ツナガル・システム」、展示会初披露の新製品「ユーエィ・ガススプリング」を出展。ここでは、展示の概要や各製品の魅力を担当者へのインタビューを交えて振り返ります。

大風量・省エネのシーリングファンが性能向上

今年4月に更なる進化を遂げた「ユーエィファン」。会場では直径5.2m仕様の実機を展示し、来場者へ爽やかな風を届けました。

新しくなったユーエィファンは、 그리스 不要のIPMモーターを採用したことで、メンテナンスの手間を省きランニングコストを低減。さらに最大回転速度を上げたことで、直径約6mタイプで最大風量19625立方メートル／分（従来機は11200立方メートル）と大幅な風力アップを果たしました。カバー範囲が広がる一方、最大消費電力は1300Wと従来比200Wの省エネを実現。従来の価格を維持しつつ、導入前に効果を可視化できるシミュレーションサービスも開始しています。

「消費電力を抑えた暑気対策や結露対策はお客様の永遠のテーマだと思います」と、ユーエィファンの専任営業の木下さん。「空調機器の導入・運用コストの高さに悩む方は多いですが、ユーエィファンなら業界を問わず、他の空調設備よりもはるかに低い費用で解決策を提案できる。商社としての知見も組み合わせ、課題解決に向けたトータルソリューションを提供したいですね」と話しました。



誰でも簡単に設置できるIoTシステム

一方「ユーエィ・ツナガル・システム」のエリアでは、位置情報や振動等の計測が可能な「IoTセンサキャスター」を用いた体感型の展示を披露。各種センサで集めた情報を可視化する「モニタリングボード・クラウド」を使い、IoTセンサキャスターを付けた台車の位置をリアルタイムで表示して

測位機能を活かした台車管理など、幅広い用途が見込まれる同システム。若井主任も「IoTは難しい」と思わず気軽に活用してほしい」とアピールしました。

新製品のガススプリング、特注にも対応

会場では、5月に正式販売を始めた新製品「ユーエィ・ガススプリング」も初披露。サンプルも用意し、現物に触れて動作を体感できる動作展示を行いました。

GS部の川野昌和専任部長が特長に挙げるのは、対応できる幅の広さ。69種を標準品で取り揃えるほか、全長・ストローク・反発力など各種カスタマイズ要望にも対応します。「ガススプリングは自動車や建機をはじめあらゆる製品に組み込まれていますが、その選定を行うのは設計の終盤であることがほとんど。仕様がすでに決まっており、特注製品をお求めになるユーザーが非常に多いんです」（川野専任部長）。

そうした背景もあり、当面の目標に掲げるのは製品の認知度向上。「ガススプリングが必要になった段階で、ユーエィに声を掛ければ何とかなる」という雰囲気を作りたい」といいます。

「一定の力を発生させられるガススプリングは、動作の安定化に適しています。ゆくゆくは通常のバネを使うユーザーにも優位性を訴求し、ガススプリングへの置き換えを提案したいですね」